



発行：社会福祉法人 心聖会  
 広報委員会  
 発行責任者：吉村 優児  
 URL <http://www.e-shinseikai.or.jp/>

(法人事務局)

〒276-0001

千葉県八千代市小池393

TEL 047(488)8222 FAX 047(488)8229

## 経営理念

わたしたちは、利用者の幸せ、利用者の家族の幸せ、地域住民の幸せ、そして、これらを支えることを職員の幸せとして事業に取り組みます。

- ・障害のある人の人格と個性を尊重します。
- ・障害のある人が安心して豊かな地域生活を営めるよう支援します。
- ・障害のある人の喜びや悲しみを共感できる職員であることに努めます。



喜びに浸っていました。ソフトの面でも施設長をはじめご利用者と向かい合っている支援者でその時にあった支援の方法を模索しながら、ご利用者の生活が少しでも良いものになるように改善を積み重ねて、いつの間にか25年が経っていたように感じます。この先も創意工夫をし、ご利用者やご家族、地域の方にも作山更生園があつてよかつたと思われよう、職員ご利用者ともに歩んで参ります。

開設当時、私は小池更生園で支援員をしていたこともあり、小池更生園のグラウンドとして運動会など小池更生園のご利用者として楽しく行事を行っていた場所に二階建ての真新しい建物が建ち、残念な気持ちと新たなご利用者の生活の場の立ち上げを嬉しく思う気持ちと複雑な思いでした。平成18年に私自身も作山更生園で支援をさせていただくこととなり、30名の入所者の方に対しての個別の取り組みや活動の幅の広さに驚かされました。平成24年には日中利用のご利用者が10名増え、40名のご利用となり、令和3年には作業の場として2階建ての作業棟が完成し、ご利用者職員共に活動の場が広がったと喜びに浸っていました。

平成11年6月に作山更生園が開設し、本年で25周年を迎えることができました。これもひとえに皆様方の厚いご支援と温かい激励の賜でございます。ここに心よりの感謝を申し上げます。

作山更生園

課長 筒井 利光

創立25周年を迎えて

### 永年勤続表彰

新年度を迎えた4月19日、小池更生園にて、永年勤続表彰式が執り行われました。

今年度は9名の職員が表彰され、緊張した面持ちで表彰状を受け取ると同時に、今後より良い支援のために努力を続けていくことを決意いたしました。

近年はニュース等でも報道されているとおり、我が国の福祉の分野では人材不足が問題となっており、我が国では毎年、多くの職員がこの表彰式のために立つことができます。

心聖会では、職員一人ひとりが主体性を持って、働きやすい環境づくりや人材育成の機会の構築に努めています。職員が働きやすく成長できる環境は、ご利用者の生活の質の向上のためにも欠かすことはできません。

今後、より多くの職員が長く活躍できる職場を目指して、心聖会職員一同、努力を続けてまいります。

#### 【令和6年度 永年勤続表彰者】

勤続30年

吉村優児(小池更生園・施設長)

勤続10年

阿田絵里子(こいけ障害者支援センター)

鶴岡秀和(小池更生園)

勤続5年

澤野雛乃(小池更生園)

千葉可奈未(作山更生園)

小林裕紀(作山更生園)

渡邊静香(こいけホーム)

丸田峻之(こいけ障害者支援センター)

安達洋平(こいけ障害者支援センター)

以上9名



#### 「感謝笑顔」

勤続十年を振り返って

こいけ障害者支援センター

阿田 絵里子

この度は、永年勤続の表彰をいただき、大変光栄に存じます。平成21年に心聖会に就職し、その間、産前・産後・育児休業制度や、育児短時間勤務制度も利用しながら、このたび、勤続10年の表彰をいただくことになりました。

子供の体調不良により急遽お休みになることや、保育園から「迎えに来て下さい」と連絡が入り、早退させていただきました。そんなことも多々ありました。そんな時「早く迎えに行ってもいいから早く迎えに行ってください」と「お子さんが元気になって良かったです」等、優しい言葉をかけてくださる上司や一緒に働く同僚たちに恵まれたこと、そして何よりも、ご利用者の笑顔から元気や勇気もらえることができるこの仕事だったからこそ、このように長年にわたって続けてこれたのだと思っています。

様々な職種の方々に助けをいただいたことや、入職して10年を経た今もなお、心聖会の一員として過ごせることに感謝しながら、ご利用者の笑顔の一つでも多く引き出せるよう、努力を続けてまいります。

これからもどうぞ、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



感謝の気持ちを忘れずまいります。



# 小池更生園便り

## 作業班のご紹介

### 室内1班

私たち1班では【「Let's try!」可能性は無限大】をスローガンに、個別ワークやリサイクル活動を行っています。「すぐに何事にも挑戦してみましよう」という意識を職員一人ひとりが大切にし、結果よりも過程を重視する価値観を共有しながら活動しています。

これから  
もご利用者  
にとって、  
作業班の活  
動が安全・  
快適なもの  
になるよう、  
サポートい  
たします。



### 室内2班

室内2班は「やってみたいを叶えよう」想いをカタチにするの「スローガン」と活動をして

います。個別ワーク、園芸活動、アート活動を中心に、ご利用者のやりたい気持ちから様々な環境設定を行い、意欲的に参加いただけるようにサポートをしています。また、昨年度から、ご利用者のイラストをステッカーやポストカードにしてバザーや行事で販売しています。イベントなどでお見かけした際には、ぜひお手にとっていただくとうれしいです



### 室内3班

室内第3班は「楽しもう！健康一番！しあわせ一番！」のスローガンをもとに、個別ワーク・軽運動・アート活動など、一人ひとりの好きなことや強みを生かすことができる活動を提供しています。

身体的な介助を必要とされる方が多くいらっしゃるため、ご利用者の皆様が無理せず安心して過ごせるよう、事故や怪我なく

安全に過ごせる環境づくりにも力を入れながら、皆さまに楽しんでいただける活動を続けています。



### 受注班

受注班は「新しい世界を切り開こう」を目標に、飲食店で使用する割りばしの封入や紙ナフキン折りなどの受注作業を中心に活動しています。他にも、アート活動や紙すきなど、ご利用者の創造性や向上心を高める試みも行っているほか、ご利用者と協力しながら、小さなことでもあきらめずにトライできる環境づくりにも注力しています。イベント等でメッセージカードの販売も予定するなど、今後も新しい活動にチャレンジしていきます！



### みそ加工班

みそ加工班は「小池みそ」と「自家焙煎ピッコロスターニョコーヒー」を作る食品加工班です。

味噌作りでは、地産地消、無添加にこだわり、千葉県産の大豆と米を使用し、大豆を煮る作業から米麴作り、樽詰めまでをご利用者とともにを行っています。

また、珈琲焙煎では、生豆の検品、焙煎・豆挽・計量、パック詰め等の作業工程に分かれ、ご利用者と共に一つ一つ手作業で丁寧に作っています。

私たちみそ加工班は「共に働く」をスローガンに掲げています。障害の有無に関わらず、共に助けあいながら働くという思いを持って活動しています。



# 作山更生園便り

## 体力テスト実施しました

今年度、作山更生園では積極的な社会参加を目的として各作業班でレクリエーション活動に毎月取り組んでいます。そのなかで「すずのね班」では「八千代市体力テスト・ニコモ度テスト会」に参加してきました。



まずは、記録シートに名前記入！

日常生活や普段の作業活動だけでは、ご利用者の身体能力を正確に把握することが難しく、作業活動のなかで課題に感じる部分もありました。今回、その身体能力が数値として明らかになり、今後はどのような運動をすれば良いのか、怪我を予防するにはどうすれば良いのかなど、



みなさん、一日お疲れ様でした。

大変役立つ情報を得ることができました。

体力テストを終えたあとは、誰もが気軽に楽しめる『ニュースポーツ体験会』にも参加しました。「フロアカーリング」「室内ペタンク」など、年齢問わず参加することができると、スタッフが用意され、様々な人々と一緒に楽しむことができました。

こうした体力テストの結果は、ご利用者の健康状態を知るために大切です。今後の支援にも大きく活かしていけると思いました。

来年も「すずのね班」は体力テストに力を入れるなど、健康な体を保つための活動を行っていきます。

## 25周年をお祝いして

作山更生園では6月1日に25周年の開園記念日を開催しました。当日は気持ちの良い青空の中、午前はモザイクアート、午後はフォトフレーム作成と思い出を彩ることをテーマにした創作活動をおこないました。

モザイクアートは小さな紙一枚一枚に色を塗っていくといった大変地味な作業ですが、ご利用者・職員同士で分担しながら各色に塗り上げたことで、虹色に輝く「25」のアート作品を完成させることができました。

フォトフレーム作成では、ピースの配置を考えたり、気泡が入ったりしないようにマスキングテープを貼ったりと、デコレーションにより個性ある装飾を施した



色々な色を組み合わせてます！



自分好みの写真立てをDIY♪

から、世界に一つだけのオリジナルの作品に仕上げることができました。完成した作品を見せ合いながら喜ばれているご利用者の姿が、とても印象的でした。イベントのラストはお約束の全員揃っての記念撮影。最後に今日一番の笑顔写真を写真に収めることができました。

作山更生園に関係する多くの方々に支えて頂きながら開設25年目を迎える事が出来ました。福祉施設の使命として「信頼される施設になる」ことを目指しながら、開設26年目となる来年も笑顔あふれる開園記念日を迎えることができるように、ご利用者とそのご家族が長く安心して生活できる場所を目指してまいります。

### こいけ障害者 支援センター便り

## 活動紹介

今回はチームミントの活動を紹介します。チームミントは、74才を最高齢として、40代後半から50代を中心に、年齢を重ねている方が多いのが特徴です。そのため、身体機能維持に特化した活動を提供していきます。



無理せず楽しくをモットーに

「フレイル」という言葉を存じでしょうか。日本語にすると「虚弱な」という意味になります。健康と要介護の間に位置する「介護が必要になる一歩手前」の状態のことをいいます。

健康な状態で少しでも長く過ごすためには「フレイル」をしっかり予防し対策していくことが重要です。

フレイルには3つの要素があるとされています。「身体」のフレイルは、足腰の筋力が衰えて、立ったり歩いたりするのがつらい状態。「精神・心理」のフレイルは、認知機能の低下や軽度のうつ症状になる状態。「社会性」のフレイルは、人の関わりがなくなって孤独感が深まるような状態。こうしたことが重なり合い、自立して生活する力が全般的に下がってしまうのです。

## 身体機能訓練

身体機能訓練では、この3つの要素にアプローチしていきます。一人ひとりの健康状態に合わせて身体を動かす機会を提供するほか、コミュニケーションを取りながら心のケアを図ることと、積極的な社会参加を促します。ご利用者一人ひとりの大切な日常生活を笑顔で健康に過ごしていただければ、フレイル予防に取り組んでまいります。

## こいけホーム便り

### 発想の転換

お花見といえば「桜」ですが、お花といえれば桜だけではないことは皆さんご存知の通りです。そこで、今年は思い切って発想を転換。ズバリ「その時期に咲いている花を愛でる！」こいけホームでは、季節の花を愛でることを「お花見」と称することとしました。これならどんな季節でもお花見が可能です。

というわけで、今年の花は「藤の花」となりました。4月28日、香取市にある水郷佐原あやめパークを訪れると、70mにも及ぶ藤のトンネルが迎えてくれました。早速、記念写真をパチリ。

藤の優しい香りのなか、趣の違うお花見を楽しみました。



藤棚の下でお花見♪

## かわいい野菜たち

こいけホームでは、趣味で野菜を育てているご利用者さんがいらっしゃいます。今回は、代表してお二人の方にインタビューを行いました。

### ☆こいけ番館・大加さん

「きゅうりを育てています。ぼくが育てています。今日は雑草を抜いたよ！水あげもしているよ。みんな、ぼくの野菜を見にきてね！」

### ★こいけ番館・遠藤さん

「野菜かわいいんだよ。毎日水やりに行くのが楽しくて、嫌なことがあっても、野菜見るとぜんぶ飛んでっちゃうんだよ。雨が降ると、会いにこれなくてごめんね」って謝ってるんだ。元気に大きくなってきてるのが嬉しくて、一日に何回も会いに行っちゃうんだ。」



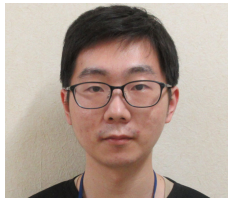
自慢のきゅうりです



今日も会いにきたよ！

令和5年度 社会福祉法人心聖会 決算報告

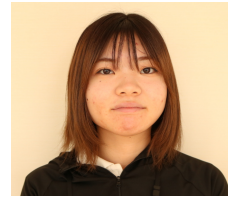
Financial statement tables including '資金収支計算書', '事業活動計算書', and '貸借対照表' with columns for budget, actuals, and differences.



《作山更生園》
① 出井智樹
② 埼玉県久喜市
③ 思い立ったが吉日



《支援センター》
① 鴛田 直之
② 千葉県千葉市
③ 臨機応変



《小池更生園》
① 柴田 百合野
② 静岡県富士市
③ 十人十色

①名前 ②出身地 ③好きな言葉

新任職員紹介

編集後記

あつというまに春が過ぎ、梅雨がやってきて、そしてまもなく、また夏がやってきます。ラニーニャ現象に伴って、かなりの猛暑になるおそれがあるとの報道もあり、暑がりの私も戦々恐々としています。水分・塩分補給や冷房の適切な使用で、皆様もぜひ、体調を崩されないようお過ごしください。

とはいえ、暑くてつらいことだけが夏ではありません。夏には楽しいことだってたくさんあります。海や山のレジャーに加えて、スイカやトマトといった夏の果物や夏野菜は、太陽の恵みをぎゅっと閉じ込めたようので、ご利用者の皆様も大好きです。そして甘党の私は、ときどきやってくる夏の新作スイーツにいつも注目しています。台湾からやってきたタピオカミルクティーやマンゴープリン、そして懐かしのナタデココ。ときどき南国からやってきてはブームを巻き起こす、珍しいスイーツたちは、いつも甘党をわくわくさせてくれます。この夏はどんなスイーツがやってくるのか、今から楽しみにしています！